

奈良工業高等専門学校		グローバル工学協働教育プログラム(GECEP) (ベーシックコース)				開講年度	平成30年度 (2018年度)			
------------	--	------------------------------------	--	--	--	------	-----------------	--	--	--

学科到達目標											担当教員	履修上の区分														
科目区分	授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																					
					1年				2年				3年				4年				5年					
					前	後	前	後	前	後			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後				
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q							
一般	選択	英語アクティブラーニングⅠ	0006	履修単位	1	1	1														金澤直志,板倉和裕					
一般	選択	異文化交流Ⅰ	0007	履修単位	1	集中講義																板倉和裕				
一般	選択	海外協働研修Ⅰ	0008	履修単位	1	集中講義																鍵本有理				
一般	選択	グローバルチャレンジ	0009	履修単位	1	集中講義																板倉和裕				
一般	選択	英語アクティブラーニングⅠ	0001	履修単位	1			1	1													金澤直志,板倉和裕				
一般	選択	英語アクティブラーニングⅡ	0002	履修単位	1			1	1													金澤直志,板倉和裕				
一般	選択	異文化交流Ⅱ	0003	履修単位	1			集中講義														金澤直志,板倉和裕				
一般	選択	海外協働研修Ⅱ	0004	履修単位	1			集中講義														安田智之,板倉和裕				
一般	選択	グローバルチャレンジ	0005	履修単位	1			集中講義														金澤直志,板倉和裕				
一般	選択	英語アクティブラーニングⅠ	0010	履修単位	1					1	1															
一般	選択	英語アクティブラーニングⅡ	0011	履修単位	1					1	1															
一般	選択	グローバルコミュニケーション	0012	履修単位	1					2																
一般	選択	異文化交流Ⅲ	0013	履修単位	1					集中講義																
一般	選択	海外協働研修Ⅲ	0014	履修単位	1					集中講義																
一般	選択	グローバルチャレンジ	0015	履修単位	1					集中講義																
一般	選択	グローバルエンジニアスキル	0016	履修単位	1					2												Leigh McDo well				
一般	選択	英語アクティブラーニングⅠ	0017	履修単位	1									1	1							朴 権英				
一般	選択	英語アクティブラーニングⅡ	0018	履修単位	1									1	1							朴 権英				
一般	選択	グローバルコミュニケーション	0019	履修単位	1									2								朴 権英				
一般	選択	異文化交流Ⅳ	0020	履修単位	1									集中講義									朴 権英			
一般	選択	海外協働研修Ⅳ	0021	履修単位	1									集中講義									松井良明,朴 権英			
一般	選択	グローバルチャレンジ	0022	履修単位	1									集中講義									朴 権英			
一般	選択	グローバルエンジニアスキル	0023	履修単位	1									2												
一般	選択	英語アクティブラーニングⅡ	0024	履修単位	1													1	1			朴 権英				
一般	選択	グローバルコミュニケーション	0025	履修単位	1													2				朴 権英				
一般	選択	異文化交流Ⅴ	0026	履修単位	1													集中講義					朴 権英			
一般	選択	海外協働研修Ⅴ	0027	履修単位	1													集中講義					稲田直久,朴 権英			
一般	選択	グローバルチャレンジ	0028	履修単位	1													集中講義					朴 権英			
一般	選択	グローバルエンジニアスキル	0029	履修単位	1													2				Leigh McDo well				

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語アクティブラーニング I
科目基礎情報					
科目番号	0006		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	ALC NetAcademy Next				
担当教員	金澤 直志, 板倉 和裕				
到達目標					
オンライン学習ソフトを利用し、自学自習を行い、指定のコースを修了する。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	計画的に自学自習を行い、指定のコースを修了できた。				指定のコースを修了できなかった。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	技能審査の成果の単位認定については、教育課程編成の多様化・弾力化の一つの方策として、平成5年3月の学校教育法施行規則の改正により、制度化された。この制度の円滑な実施を図るために、選択教科・科目の幅を拡大して、多様な弾力的な教育課程を編成している。学校外での学修を30単位を超えない範囲で当該高専での授業科目の修得とみなし、単位の修得を認定することが可能となった。そして実用英語技能検定試験（実用英検）などについて、自主的判断に基づき単位が認められることになった。				
授業の進め方・方法	「高等専門学校が単位の修得を認定できる学修を定める件（告示）」でいう、技能審査の認定に関する規則による文部科学大臣の認定を受けていないTOEICについては、受講者の取り組み状況（学習内容及び学習時間等）を示すレポート等の提出をもって、それぞれ、以下のスコアを目安とする学修に対する評価を別途行うことにより、単位認定するものとする。				
注意点	<p>関連科目 英語I 学習指針 英語資格試験の問題を通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく。</p> <p>自己学習 学ぶ習慣を身につけてほしい。英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。</p>				
学修単位の履修上の注意					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	単位認定に関して 申請方法： 例年1月末に申込期間を設定している。学生には掲示板にて公示されるので、1月に入って掲示板を確認すること。 コース修了を証明する書類を申請用紙に添えて学生課グローバル事務局に提出すること。	英語検定試験準2級合格、もしくは、TOEICで400点以上を取得すること。	
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			

		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
			TOEIC		合計
総合評価割合			100		100
基礎的能力			100		100

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	グローバルチャレンジ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0009		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	1	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	なし				
担当教員	板倉 和裕				
<b>到達目標</b>					
1. 英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で述べるができる。 2. 諸外国の歴史や文化、現代世界の社会的課題について幅広い関心を有している。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
グローバルコミュニケーション力	異文化への深い理解をもつとともに、積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができない。		
異文化理解力	異文化理解に対する高い意識をもつとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。	異文化理解に対して高い意識をもっている。	異文化理解に対する意識が不十分である。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	グローバル教育センターが主催するイベント（特別講演会、国際交流報告会、異文化理解セミナーなど）に参加し、英語での講演聴講を通じて、諸外国の文化や現代世界の社会的諸課題について学び、グローバルエンジニアに必要な教養を身につける。				
授業の進め方・方法	グローバル教育センター主催イベントへの参加と毎回のコメントカード作成。				
注意点	関連科目：これまでの英語の学習内容だけでなく、諸外国の歴史と文化や現代世界の社会的諸課題について幅広い関心を持つことが求められる。 学習指針：専門分野の知識と合わせて、諸外国の文化や社会的課題について学ぶ積極的な姿勢が求められる。				
<b>学修単位の履修上の注意</b>					
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	イベントの開催情報については学生課グローバル掲示板およびグローバル教育センターHPに随時掲載されるので、履修学生は定期的に掲示板とHPを確認すること。  単位認定に関してグローバル教育センター主催イベントへの参加とコメントカードの提出、および報告書の提出をもって単位認定を行う。	1. 英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で述べるができる。 2. 諸外国の歴史や文化、現代世界の社会的課題について幅広い関心を有している。	
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
後期	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
後期	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		授業取り組み	報告書	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		50	50	100	

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語アクティブラーニング I
科目基礎情報					
科目番号	0001		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	ALC NetAcademy Next				
担当教員	金澤 直志, 板倉 和裕				
到達目標					
オンライン学習ソフトを利用し、自学自習を行い、指定のコースを修了する。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	計画的に自学自習を行い、指定のコースを修了できた。				指定のコースを修了できなかった。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	技能審査の成果の単位認定については、教育課程編成の多様化・弾力化の一つの方策として、平成5年3月の学校教育法施行規則の改正により、制度化された。この制度の円滑な実施を図るために、選択教科・科目の幅を拡大して、多様な弾力的な教育課程を編成している。学校外での学修を30単位を超えない範囲で当該高専での授業科目の修得とみなし、単位の修得を認定することが可能となった。そして実用英語技能検定試験（実用英検）などについて、自主的判断に基づき単位が認められることになった。				
授業の進め方・方法	「高等専門学校が単位の修得を認定できる学修を定める件（告示）」でいう、技能審査の認定に関する規則による文部科学大臣の認定を受けていないTOEICについては、受講者の取り組み状況（学習内容及び学習時間等）を示すレポート等の提出をもって、それぞれ、以下のスコアを目安とする学修に対する評価を別途行うことにより、単位認定するものとする。				
注意点	<p>関連科目 英語I 学習指針 英語資格試験の問題を通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく。</p> <p>自己学習 学ぶ習慣を身につけてほしい。英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。</p>				
学修単位の履修上の注意					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	単位認定に関して 申請方法： 例年1月末に申込期間を設定している。学生には掲示板にて公示されるので、1月に入って掲示板を確認すること。 コース修了を証明する書類を申請用紙に添えて学生課グローバル事務局に提出すること。	英語検定試験準2級合格、もしくは、TOEICで400点以上を取得すること。	
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			

		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
			TOEIC		合計
総合評価割合			100		100
基礎的能力			100		100

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語アクティブラーニングⅡ	
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	ALC NetAcademy Next					
担当教員	金澤 直志, 板倉 和裕					
到達目標						
オンライン学習ソフトを利用し、自学自習を行い、TOEICで550点を取得する。						
ループリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		オンライン学習ソフトを利用し、自学自習を行い、TOEIC試験において550点以上のスコアを取得できた。		TOEIC試験において550点以上のスコアを取得できなかった。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	技能審査の成果の単位認定については、教育課程編成の多様化・弾力化の一つの方策として、平成5年3月の学校教育法施行規則の改正により制度化された。この制度の円滑な実施を図るために、選択教科・科目の幅を拡大して、多様で弾力的な教育課程を編成している。学校外での学修を30単位を超えない範囲で当該高専での授業科目の修得とみなし、単位の修得を認定することが可能となった。そして実用英語技能検定試験（実用英検）などについて、自主的判断に基づき単位が認められることになった。					
授業の進め方・方法	「高等専門学校が単位の修得を認定できる学修を定める件（告示）」でいう、技能審査の認定に関する規則による文部科学大臣の認定を受けていないTOEICについては、受講者の取り組み状況（学習内容及び学習時間等）を示すレポート等の提出をもって、それぞれ、以下のスコアを目安とする学修に対する評価を別途行うことにより、単位認定するものとする。					
注意点	<p>関連科目 英語Ⅱ, 英文読解Ⅰ 学習指針 英語資格試験の問題を通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく。 自己学習 学ぶ習慣を身につけてほしい。英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。</p>					
学修単位の履修上の注意						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	単位認定に関して 申請方法： 例年1月末に申込期間を設定している。学生には掲示板にて公示されるので、1月に入って掲示板を確認すること。 TOEIC550点以上のスコア取得を証明する書類を申請用紙に添えて学生課グローバル事務局に提出すること。	英語検定試験2級合格、もしくは、TOEICで550点以上を取得すること。		
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
			英検・TOEIC		合計
総合評価割合			100		100
基礎的能力			100		100

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	グローバルチャレンジ		
科目基礎情報							
科目番号	0005		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	2			
開設期	集中		週時間数				
教科書/教材	なし						
担当教員	金澤 直志, 板倉 和裕						
到達目標							
1. 英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で述べるができる。 2. 諸外国の歴史や文化、現代世界の社会的課題について幅広い関心を有している。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
グローバルコミュニケーション力		異文化への深い理解をもつとともに、積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができない。			
異文化理解力		異文化理解に対する高い意識をもつとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。	異文化理解に対して高い意識をもっている。	異文化理解に対する意識が不十分である。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	グローバル教育センターが主催するイベント（特別講演会、国際交流報告会、異文化理解セミナーなど）に参加し、英語での講演聴講を通じて、諸外国の文化や現代世界の社会的諸課題について学び、グローバルエンジニアに必要な教養を身につける。						
授業の進め方・方法	グローバル教育センター主催イベントへの参加と毎回のコメントカード作成。						
注意点	関連科目：これまでの英語の学習内容だけでなく、諸外国の歴史と文化や現代世界の社会的諸課題について幅広い関心を持つことが求められる。 学習指針：専門分野の知識と合わせて、諸外国の文化や社会的課題について学ぶ積極的な姿勢が求められる。						
学修単位の履修上の注意							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	イベントの開催情報については学生課グローバル掲示板およびグローバル教育センターHPに随時掲載されるので、履修学生は定期的に掲示板とHPを確認すること。  単位認定に関してグローバル教育センター主催イベントへの参加とコメントカードの提出、および報告書の提出をもって単位認定を行う。	1. 英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で述べるができる。 2. 諸外国の歴史や文化、現代世界の社会的課題について幅広い関心を有している。			
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
後期	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		授業取り組み	報告書	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		50	50	100	

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	異文化交流Ⅲ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0013	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)	対象学年	3		
開設期	集中	週時間数			
教科書/教材	Original Handouts				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
<p>1. 文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。また、本校が提供する国際交流プログラムに参加し、仲間と協力してその準備に積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 本校が提供する国際交流プログラムに参加し、積極的に海外学生との交流を図ることができる。異なる文化を持つ学生との交流を通して、異文化の存在を意識し、どのような態度で異文化を受け入れるべきか考え行動に移すことができる。主に英語を用いて交流プログラムの報告会でプレゼンテーションをすることができる。</p>					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
異文化理解力	異文化理解に対する高い意識をもつとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。	異文化理解に対して高い意識をもっている。	異文化理解に対する意識が不十分である。		
グローバル・コミュニケーション力	異文化への深い理解をもつとともに、積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができる。	積極的に海外学生との交流を図ることができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	異文化に関するオープンマインドな姿勢で国際交流プログラムに参加し、英語による日本文化と学校紹介、海外学生とのコミュニケーションを通してグローバル感覚を身につける。				
授業の進め方・方法	講義により、「異文化理解」における3つの構成要素(①態度・②知識・③技能)を理解した上で、海外学生との国際交流プログラムにおいて学校及び日本文化の紹介に関するプレゼンテーションの準備を行う。また、実際の国際交流プログラムへの参加と異文化交流を通して修得した知見をポスターにまとめる。				
注意点	<p>異文化理解に対するオープンマインドな姿勢を有することが必要である。そして実践的な異文化交流を行う対象国に関する基礎知識を事前に習得するなど、積極的な取り組みが必要である。</p> <p>関連科目：人文科学系の科目および社会科学系の科目の中、英語および文化に関連する科目</p> <p>学習指針：英語コミュニケーション能力の向上のために「聞く」、「話す」練習を行うこと。異文化交流プログラムへの参加に向けて英語による発表資料を作成すること。</p> <p>自己学習(事前学習および事後展開学習)</p> <p>事前学習：異文化交流を行う対象国に関する基礎知識を事前に調査すること。学校紹介や日本文化に関する英語プレゼンテーションを行うための資料収集、英作文練習、発音練習を行うこと。</p> <p>事後展開学習：各異文化交流プログラムを通じて学んだ知識、教養に関する英文報告書を作成すること。</p>				
<b>学修単位の履修上の注意</b>					
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	<p>1. 後期集中講義(受け入れ活動の事前準備) 異文化理解に関する知識伝達型の講義と演習に出席する。</p> <p>2. シンガポール人学生の受入準備のための活動 学校・文化紹介用のPPT作成、キャンパスツアーの企画、交流の企画など、シンガポール学生の受入準備活動を行う。</p> <p>3. シンガポール人学生受入活動への参加</p> <p>4. 報告会開催に向けた準備活動 全体での振り返りおよび役割別振り返りを行うほか、報告会の開催に向けてPPT、掲示用ポスター、広報用動画の作成などを行う。</p> <p>5. 国際交流プログラム参加報告会の実施</p>	<p>1. 文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。また、本校が提供する国際交流プログラムに積極的に参加し、仲間と協力してその準備に積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 本校が提供する国際交流プログラムに参加し、積極的に海外学生との交流を図ることができる。異なる文化を持つ学生との交流を通して、異文化の存在を意識し、どのような態度で異文化を受け入れるべきか考え行動に移すことができる。主に英語を用いて交流プログラムの報告会でプレゼンテーションをすることができる。</p>	
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			

後期	3rdQ	1週	<p>1. 後期集中講義（受け入れ活動の事前準備） 異文化理解に関する知識伝達型の講義と演習に出席する。</p> <p>2. シンガポール人学生の受入準備のための活動 学校・文化紹介用のPPT作成、キャンパスツアーの企画、交流の企画など、シンガポール学生の受入準備活動を行う。</p> <p>3. シンガポール人学生受入活動への参加</p> <p>4. 報告会開催に向けた準備活動 全体での振り返りおよび役割別振り返りを行うほか、報告会の開催に向けてPPT、掲示用ポスター、広報用動画の作成などを行う。</p> <p>5. 国際交流プログラム参加報告会の実施</p>	<p>1. 文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。また、本校が提供する国際交流プログラムに積極的に参加し、仲間と協力してその準備に積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 本校が提供する国際交流プログラムに参加し、積極的に海外学生との交流を図ることができる。異なる文化を持つ学生との交流を通して、異文化の存在を意識し、どのような態度で異文化を受け入れるべきか考え行動に移すことができる。主に英語を用いて交流プログラムの報告会でプレゼンテーションをすることができる。</p>
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		課題提出	授業参加・評価	提出物の完成度	合計
総合評価割合		50	30	20	100
基礎的能力		50	30	20	100

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	グローバルチャレンジ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0015	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)	対象学年	3		
開設期	集中	週時間数			
教科書/教材	Original Handouts				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
1. 英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で表現する練習をすることができる。 2. 特別講演や異文化交流プログラムおよび英語コミュニケーション集中講義などを通じて、グローバル社会に対する理解を深めることができる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
グローバルコミュニケーションスキル	積極的かつ流暢な英語でコミュニケーションをすることができる。	英語で概ねコミュニケーションをすることができる。	英語でコミュニケーションをすることができない。		
異文化理解力	異文化理解に対する高い意識をもつとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。	異文化理解に対して高い意識をもっている。	異文化理解に対する意識が不十分である。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	グローバル教育センターが主催するイベント（特別講演会、国際交流報告会、異文化理解セミナーなど）に参加し、英語での講演聴講を通じて、諸外国の文化や現代世界の社会的諸課題について学び、グローバルエンジニアに必要な教養を身につける。				
授業の進め方・方法	グローバルエンジニア育成を目的とする特別講演会、国際交流報告会、異文化理解セミナーの他、英語コミュニケーションに特化した集中講義等へ積極的に参加し、毎回の学習内容についてアンケートおよびコメントカードを作成すること。				
注意点	<p>関連科目：英語科目のみならず、世界史、世界文化、現代社会全般について幅広い関心を持つことが求められる。</p> <p>学習指針：基礎的な英語コミュニケーション能力と、外国の文化やグローバル社会の課題に関する学ぶ積極的な学習態度が必要となる。</p> <p>異文化に対するオープンマインド、基礎的な英語コミュニケーションのフレーズを事前に習得するなど、積極的な取り組みが求められる。</p> <p>英語コミュニケーション能力の向上のために「聞く」、「話す」練習を行うこと。異文化交流プログラムへの参加に向けて英語による発表資料を作成すること。</p> <p>自己学習（事前学習および事後展開学習）</p> <p>事前学習：各講演やイベントに参加するための基礎知識を事前に習得すること。基礎的な英語コミュニケーションの練習、発音練習を行うこと。</p> <p>事後展開学習：各講演やイベントを通じて学んだ知識と教養に関して、英文報告書を作成すること。</p>				
<b>学修単位の履修上の注意</b>					
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	後期集中開催（以下のイベント内容参照）	各イベントに伴う内容を理解し、実用的な英語表現の練習およびコメントカードを作成することができる。	
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週	<p>イベントの開催情報については学生課グローバル掲示板およびグローバル教育センターHPに随時掲載されるので、履修学生は定期的に掲示板とHPを確認すること。</p> <p>単位認定に関してグローバル教育センター主催イベントへの参加とコメントカードの提出、および報告書の提出をもって単位認定を行う。</p>	英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で表現することを学ぶことができる。諸外国の歴史や文化、現代社会の課題について幅広い事前調査をすることができる。	
		2週	令和2年度第1回異文化交流会 * 留学経験者との交流会	異文化について理解を深めることができる。	
		3週	令和2年度第1回国際交流報告会	国際文化を通じて学んだ知識を共有することができる。	

4thQ	4週	令和2年度第1回特別講演会 *招待講演：英語コミュニケーション能力の向上について	英語コミュニケーション能力を高める学習法について理解することができる。
	5週	令和2年度第1回異文化理解セミナー	異文化に対する柔軟なマインドを育成することができる。
	6週	英語コミュニケーション集中訓練① *100 English Conversations Practice	基礎英会話フレーズに関する集中訓練ができる。
	7週	英語コミュニケーション集中訓練② *100 English Conversations Practice	基礎英会話フレーズに関する集中訓練ができる。
	8週	グローバルウェビナー参加①	アンケートおよびコメントカードを作成することができる。
	9週	グローバルウェビナー参加②	アンケートおよびコメントカードを作成することができる。
	10週	令和2年度第2回異文化交流会	異文化について理解を深めることができる。
	11週	令和2年度第2回特別講演会 *招待講演：地球環境問題とグローバルマインドについて	地球環境問題とグローバルマインドについて理解することができる。
	12週	Intensive English Communication Skills Training ① (集中講義)	学んだ英会話フレーズを活用することができる。
	13週	Intensive English Communication Skills Training ②	学んだ英会話フレーズを活用することができる。
	14週	Intensive English Communication Skills Training ③	学んだ英会話フレーズを活用することができる。
	15週	派遣留学生成果報告会&留学生交流会	留学を通じて学んだ知識と経験を共有することができる。
	16週		

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		参加活動報告	完成度	合計	
総合評価割合		80	20	100	
基礎的能力		80	20	100	

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	グローバルエンジニアスキル
科目基礎情報					
科目番号	0016	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)	対象学年	3		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	Barnaby Newbolt (著) Climate Change				
担当教員	Leigh McDowell				
到達目標					
The ability to use English technical terms, mathematical formulas, units, etc. to freely conduct basic communication in English while working in a specialized field.					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
Reading Skills	Understand the contents of the text accurately.	There are some mistakes, but can understand generally.	Many errors and poor understanding.		
Expression	Express your own ideas accurately.	There are some mistakes, but can express your own ideas generally.	Many errors and difficult to express your own ideas.		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	When working as an engineer or researcher in the science and technology field in the future, it is necessary to smoothly communicate in English. In this lecture, students will learn English vocabulary related to science and technology and related English expressions, and will also be able to express their ideas logically in English on a given topic through individual / pair / group work.				
授業の進め方・方法	Work on language activities focusing on Speaking and listening. Discuss a given topic in pairs or groups to improve their English speaking skills.				
注意点	In order to achieve the above goal, students are required to review the text and review the lessons of the class, and actively engage in English learning. 学習指針：地球環境問題に関する知識と理解力が求められる。 関連科目：グローバルチャレンジ、異文化交流、英語科科目 事前学習：英語ネイティブの発音を聞く練習を行うこと。授業で学ぶチャプターの英単語を事前に調べること。 事後展開学習：授業で学んだ内容を理解し、本文の英文音読を行うこと。各話題について英語で意見を述べること。				
学修単位の履修上の注意					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Guidance	Explain the contents of the course, how to proceed, and marking policy.	
		2週	Keywords for the topic	Learn the outline and keywords of the textbook.	
		3週	Chapter1: What is climate change?	Understand the contents of Chapter 1 and discuss them in English.	
		4週	Chapter2: How does our climate work?	Understand the contents of Chapter 2 and discuss them in English.	
		5週	Chapter3: Getting warmer	Understand the contents of Chapter 3 and discuss them in English.	
		6週	Chapter4: Wetter – and drier	Understand the contents of Chapter 4 and discuss them in English.	
		7週	Chapter5: Extreme weather	Understand the contents of Chapter 5 and discuss them in English.	
		8週	Chapter6: Slow or sudden change?	Understand the contents of Chapter 6 and discuss them in English.	
	2ndQ	9週	Chapter7: How bad will it get?	Understand the contents of Chapter 7 and discuss them in English.	
		10週	Chapter8: Is it all bad?	Understand the contents of Chapter 8 and discuss them in English.	
		11週	Chapter9: Carbon	Understand the contents of Chapter 9 and discuss them in English.	
		12週	Chapter10: What are our governments doing?	Understand the contents of Chapter 10 and discuss them in English.	
		13週	Chapter11: What can you do?	Understand the contents of Chapter 11 and discuss them in English.	
		14週	Review	Understand the contents of Chapter 1~11	
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		Weekly Assignment	Class Participation	合計	
総合評価割合		80	20	100	
基礎的能力		80	20	100	

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	グローバルコミュニケーション
科目基礎情報					
科目番号	0019	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)	対象学年	4		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	Original Handouts				
担当教員	朴 権英				
到達目標					
This lecture aims to encourage students to express their thoughts related to various social issues as well as to develop listening, speaking, reading, and writing skills needed to discuss in English fluently. 本講義では、英語で流暢に話し合うために必要なリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングスキルを伸ばし、様々な社会問題に関する考えを述べる力を養うことを目的とする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
リスニング能力	英語ニュース(必要語彙数約5000語)を聞き、正しく理解することができる。	英語ニュース(必要語彙数約5000語)を聞き、おおむね理解することができる。	英語ニュース(必要語彙数約5000語)を聞き、正しく理解することができない。		
スピーキング能力	英語ニュースを聞き、内容についての確に話すことができる。	英語ニュースを聞き、内容についておおむね話すことができる。	英語ニュースを聞き、内容についての確に話すことができない。		
リーディング能力	英文記事(必要語彙数約5000語)を読み、内容に関する質問に正しく回答することができる。	英文記事(必要語彙数約5000語)を読み、内容に関する質問におおむね回答することができる。	英文記事(必要語彙数約5000語)を読み、内容に関する質問に正しく回答することができない。		
ライティング能力	英文記事に関連する社会問題について正しく英作文することができる。	英文記事に関連する社会問題についておおむね英作文することができる。	英文記事に関連する社会問題について正しく英作文することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	This lecture serves as an practical communicative classes for students to develop English language skills needed to discuss social issues by using audiovisual materials. At the beginning of each class, a special dictation practice is served.				
授業の進め方・方法	The classes are basically in person with some dictation and reading comprehension practices, requiring 2/3 attention at weekly assignment tests. The contents and schedule are as shown below.				
注意点	Students are required to review for the assigned part of handouts for each class, and to practice short essay writing about current social issues.				
学修単位の履修上の注意					
事前学習：英単語調べはもちろん、各章の問題を「提出用ノート」に解答しておき、充実させたノートを提出できるようにしておく。 事後展開学習：授業中に作成した「板書用ノート」をみながら、復習し、クイズやテストに備える。					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Class Introduction	To understand what and how to learn communicative English	
		2週	World News I , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		3週	World News II , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		4週	World News III , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		5週	World News IV , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		6週	World News V , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		7週	World News VI , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		8週	World News VII , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
	2ndQ	9週	World News VIII , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		10週	World News IX , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		11週	World News X , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		12週	Essay Writing & Discussion	To be assessed each level of understanding	
		13週	How to express each point of views about social issues	To understand the typical patterns of essay writing	
		14週	Final Assignment Test	To be assessed each level of writing	
		15週	Final Essay Writing	To be assessed each level of speaking	

	16週	Review	Finalizing & Evaluations		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	Weekly Assignment	Essay Writing	Class Participation	合計	
総合評価割合	60	30	10	100	
基礎的能力	60	0	10	70	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	30	0	30	

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	グローバルチャレンジ
科目基礎情報					
科目番号	0022		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	4	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	Original Handouts				
担当教員	朴 槿英				
到達目標					
1. 英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で表現する練習をすることができる。 2. 特別講演や異文化交流プログラムおよび英語コミュニケーション集中講義などを通じて、グローバル社会に対する理解を深めることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
グローバルコミュニケーションスキル	積極的かつ流暢な英語でコミュニケーションをすることができる。		英語で概ねコミュニケーションをすることができる。		英語でコミュニケーションをすることができない。
異文化理解力	異文化理解に対する高い意識をもつとともに、自国の文化へも目を向け、その違いを認知することができる。		異文化理解に対して高い意識をもっている。		異文化理解に対する意識が不十分である。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	グローバル教育センターが主催するイベント（特別講演会、国際交流報告会、異文化理解セミナーなど）に参加し、英語での講演聴講を通じて、諸外国の文化や現代世界の社会的諸課題について学び、グローバルエンジニアに必要な教養を身につける。				
授業の進め方・方法	グローバルエンジニア育成を目的とする特別講演会、国際交流報告会、異文化理解セミナーの他、英語コミュニケーションに特化した集中講義等へ積極的に参加し、毎回の学習内容についてアンケートおよびコメントカードを作成すること。				
注意点	関連科目：英語科目のみならず、世界史、世界文化、現代社会全般について幅広い関心を持つことが求められる。 学習指針：基礎的な英語コミュニケーション能力と、外国の文化やグローバル社会の課題に関する学ぶ積極的な学習態度が必要となる。 異文化に対するオープンマインド、基礎的な英語コミュニケーションのフレーズを事前に習得するなど、積極的な取り組みが求められる。 英語コミュニケーション能力の向上のために「聞く」、「話す」練習を行うこと。異文化交流プログラムへの参加に向けて英語による発表資料を作成すること。 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：各講演やイベントに参加するための基礎知識を事前に習得すること。基礎的な英語コミュニケーションの練習、発音練習を行うこと。 事後展開学習：各講演やイベントを通じて学んだ知識と教養に関して、英文報告書を作成すること。				
学修単位の履修上の注意					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	後期集中開催（以下のイベント内容参照）	各イベントに伴う内容を理解し、実用的な英語表現の練習およびコメントカードを作成することができる。	
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週	<p>イベントの開催情報については学生課グローバル掲示板およびグローバル教育センターHPに随時掲載されるので、履修学生は定期的に掲示板とHPを確認すること。</p> <p>単位認定に関してグローバル教育センター主催イベントへの参加とコメントカードの提出、および報告書の提出をもって単位認定を行う。</p>	英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で表現することを学ぶことができる。諸外国の歴史や文化、現代社会の課題について幅広い事前調査をすることができる。	

4thQ	2週	令和2年度第1回異文化交流会 * 留学経験者との交流会	異文化について理解を深めることができる。
	3週	令和2年度第1回国際交流報告会	国際文化を通じて学んだ知識を共有することができる。
	4週	令和2年度第1回特別講演会 * 招待講演：英語コミュニケーション能力の向上について	英語コミュニケーション能力を高める学習法について理解することができる。
	5週	令和2年度第1回異文化理解セミナー	異文化に対する柔軟なマインドを育成することができる。
	6週	英語コミュニケーション集中訓練① * 100 English Conversations Practice	基礎英会話フレーズに関する集中訓練ができる。
	7週	英語コミュニケーション集中訓練② * 100 English Conversations Practice	基礎英会話フレーズに関する集中訓練ができる。
	8週	グローバルウェビナー参加①	アンケートおよびコメントカードを作成することができる。
	9週	グローバルウェビナー参加②	アンケートおよびコメントカードを作成することができる。
	10週	令和2年度第2回異文化交流会	異文化について理解を深めることができる。
	11週	令和2年度第2回特別講演会 * 招待講演：地球環境問題とグローバルマインドについて	地球環境問題とグローバルマインドについて理解することができる。
	12週	Intensive English Communication Skills Training ① (集中講義)	学んだ英会話フレーズを活用することができる。
	13週	Intensive English Communication Skills Training ②	学んだ英会話フレーズを活用することができる。
	14週	Intensive English Communication Skills Training ③	学んだ英会話フレーズを活用することができる。
	15週	国際プログラム参加成果報告会	グローバルな活動を通じて学んだ知識と経験を共有することができる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		参加活動報告	完成度	合計	
総合評価割合		80	20	100	
基礎的能力		80	20	100	

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	グローバルコミュニケーション
科目基礎情報					
科目番号	0025	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)	対象学年	5		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	Original Handouts				
担当教員	朴 権英				
到達目標					
This lecture aims to encourage students to express their thoughts related to various social issues as well as to develop listening, speaking, reading, and writing skills needed to discuss in English fluently. 本講義では、英語で流暢に話し合うために必要なリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングスキルを伸ばし、様々な社会問題に関する考えを述べる力を養うことを目的とする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
リスニング能力	英語ニュース(必要語彙数約5000語)を聞き、正しく理解することができる。	英語ニュース(必要語彙数約5000語)を聞き、おおむね理解することができる。	英語ニュース(必要語彙数約5000語)を聞き、正しく理解することができない。		
スピーキング能力	英語ニュースを聞き、内容についての確に話すことができる。	英語ニュースを聞き、内容についておおむね話すことができる。	英語ニュースを聞き、内容についての確に話すことができない。		
リーディング能力	英文記事(必要語彙数約5000語)を読み、内容に関する質問に正しく回答することができる。	英文記事(必要語彙数約5000語)を読み、内容に関する質問におおむね回答することができる。	英文記事(必要語彙数約5000語)を読み、内容に関する質問に正しく回答することができない。		
ライティング能力	英文記事に関連する社会問題について正しく英作文することができる。	英文記事に関連する社会問題についておおむね英作文することができる。	英文記事に関連する社会問題について正しく英作文することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	This lecture serves as an practical communicative classes for students to develop English language skills needed to discuss social issues by using audiovisual materials. At the beginning of each class, a special dictation practice is served.				
授業の進め方・方法	The classes are basically in person with some dictation and reading comprehension practices, requiring 2/3 attention at weekly assignment tests. The contents and schedule are as shown below.				
注意点	Students are required to review for the assigned part of handouts for each class, and to practice short essay writing about current social issues.				
学修単位の履修上の注意					
事前学習：英単語調べはもちろん、各章の問題を「提出用ノート」に解答しておき、充実させたノートを提出できるようにしておく。 事後展開学習：授業中に作成した「板書用ノート」をみながら、復習し、クイズやテストに備える。					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Class Introduction	To understand what and how to learn communicative English	
		2週	World News I , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		3週	World News II , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		4週	World News III , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		5週	World News IV , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		6週	World News V , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		7週	World News VI , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		8週	World News VII , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
	2ndQ	9週	World News VIII , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		10週	World News IX , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		11週	World News X , Dictation Test, Q&A Practice	To understand the expression related to social issues	
		12週	Essay Writing & Discussion	To be assessed each level of understanding	
		13週	How to express each point of views about social issues	To understand the typical patterns of essay writing	
		14週	Final Assignment Test	To be assessed each level of writing	
		15週	Final Essay Writing	To be assessed each level of speaking	

	16週	Review	Finalizing & Evaluations		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	Weekly Assignment / Class Participation		Essay Writing	合計	
総合評価割合	60		40	100	
基礎的能力	60		0	60	
専門的能力	0		0	0	
分野横断的能力	0		40	40	

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	グローバルチャレンジ	
<b>科目基礎情報</b>						
科目番号	0028		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	5		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	「CLIL SDGs—Sustainable Development Goals CLIL英語で考えるSDGs—持続可能な開発目標」、三修社、笹島茂他 著 & Original Handouts / 本校で実施する国際交流等の報告会発表が参考となる。					
担当教員	朴 権英					
<b>到達目標</b>						
1. 国連が提唱する持続可能な開発目標 SDGs の Contents について英語で考えることができる。 2. 地球規模の多様な問題について学び、考え (Cognition)、互いの意見を英語で表現 (Short Speech & Presentation) できる。特別講演およびオールイングリッシュ講義を通じて、国際社会を舞台に活躍できるグローバルマインドの育成や実践的英語コミュニケーションスキルを身に付けることができる。						
<b>ルーブリック</b>						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
グローバルコミュニケーションスキル	生英語を聞き取り、内容を良く理解することができる。	生英語を聞き取り、内容を概ね理解することができる。	生英語を聞き取れず、内容を理解することができない。			
ディスカッションスキル	国際問題について高い意識をもつとともに、その内容について深くディスカッションすることができる。	国際問題について高い意識をもつとともに、その内容について概ねディスカッションすることができる。	国際問題に関する意識が不十分であり、その内容についてディスカッションすることができない。			
ショートスピーチ&プレゼンテーションスキル	流暢な英語で、ショートスピーチまたはプレゼンテーションできる。	分かる程度の英語で、ショートスピーチまたはプレゼンテーションできる。	英語で、ショートスピーチまたはプレゼンテーションできない。			
<b>学科の到達目標項目との関係</b>						
<b>教育方法等</b>						
概要	CLIL(Content and Language Integrated Learning) とは、伝えたい内容と言語教育を融合した学習法である。SDGs について、オールイングリッシュ講義を通じて学び、考え、英語で発表を行うことで、国際舞台で活躍できる実践的英語コミュニケーションスキル、地球規模の問題意識およびグローバルマインドを養うことができる。なお、グローバル教育センターが主催する特別イベント(特別講演会、海外協働研修報告会など)に必ず参加し、グローバルエンジニアとして必要な知識とスキルを身に付ける。					
授業の進め方・方法	SDGs の内容を英語で理解し、考え、コミュニケーションできるよう、オールイングリッシュ講義を行う。各講義、特別講演会、海外協働研修報告会他、英語コミュニケーション集中講義等へ積極的に参加し、学習内容についてアンケートおよび英文レポートを作成し、英語でショートスピーチやプレゼンテーションを行う。					
注意点	関連科目：英語科目のみならず、世界の現代社会全般について幅広い関心を持つことが求められる。 学習指針：基礎的な英語コミュニケーション能力と、グローバル社会の課題に関する学ぶ積極的な学習態度が必要となる。 地球規模の課題に対する文献を事前調査するなど、積極的な取り組みが求められる。 英語コミュニケーション能力の向上のために「聞く」、「話す」練習を随時行うこと。 自己学習(事前学習および事後展開学習) 事前学習：オールイングリッシュ講義やイベントに参加するための基礎知識を事前に習得すること。英語コミュニケーションの練習、発音練習を随時行うこと。 事後展開学習：各講演やイベントを通じて学んだ内容を将来の活動に積極的に活用すること。					
<b>学修単位の履修上の注意</b>						
<b>授業の属性・履修上の区分</b>						
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
<b>授業計画</b>						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	前期集中開催 (以下のイベント内容参照) イベントの開催情報については学生課グローバル掲示板およびTeams掲示板に随時掲載されるので、履修学生は定期的に掲示板を確認すること。 単位認定に関して グローバル教育センター主催イベントへの参加とコメントカードの提出、および報告書の提出をもって単位認定を行う。	各イベントに伴う内容を理解し、実用的な英語表現の練習および英文レポートを作成することができる。 英語による講演内容を概ね理解し、自身の考えや質問を英語で表現することを学ぶことができる。 現代社会の課題について幅広い事前調査をすることができる。		
		2週	Challenge 1 No Poverty / Zero Hunger	貧困と飢餓問題について学び、考え、質問に答えることができる。		
		3週	Challenge 2 Good Health and Well-Being	健康と福祉問題について学び、考え、質問に答えることができる。		
		4週	Challenge 3 Clean Water / Affordable and Clean Energy	安全な水およびグリーンエネルギーの確保について学び、考え、質問に答えることができる。		
		5週	Challenge 4 Industry, Innovation, and Infrastructure	産業と技術革新の基礎について学び、考え、質問に答えることができる。		
		6週	Challenge 5 Sustainable Cities and Communities	住み続けられるまちづくりについて学び、考え、質問に答えることができる。		
		7週	Challenge 6 Responsible Production and Consumption	生産および消費の責任について学び、考え、質問に答えることができる。		
		8週	グローバルチャレンジイベント第1回特別講演会	特別講演会に参加し、アンケートおよびコメントカードを作成することができる。		
	2ndQ	9週	Challenge 7 Climate Action	気候変動に対する具体的な対策について学び、考え、質問に答えることができる。		

		10週	Challenge 8 Life below Water / Life on Land	海や陸の豊かさを守るについて学び、考え、質問に答えることができる。
		11週	オンライン国際プログラム（ウェビナー）	海外学術交流校とのオンライン国際交流活動に参加することができる。
		12週	国際プログラム参加成果報告会	グローバルな活動を通じて学んだ知識と経験を共有することができる。
		13週	Intensive English Communication Training ①	英語集中訓練を通じて実践的コミュニケーションスキルを磨くことができる。
		14週	Intensive English Communication Training ②	英語集中訓練を通じて実践的コミュニケーションスキルを磨くことができる。
		15週	STEAM English 特別講演	STEAMに特化した英語講演を通じてSTEAMに関する理解を高めることができる。
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
15週				
16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
<b>評価割合</b>					
		チャレンジレポート	プレゼンテーション	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		50	0	50	
総合的能力		0	50	50	

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	グローバルエンジニアスキル
科目基礎情報					
科目番号	0029		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (ベーシックコース)		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	Barnaby Newbolt (著) Climate Change				
担当教員	Leigh McDowell				
到達目標					
The ability to use English technical terms, mathematical formulas, units, etc. to freely conduct basic communication in English while working in a specialized field.					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
Reading Skills	Understand the contents of the text accurately.	There are some mistakes, but can understand generally.	Many errors and poor understanding.		
Expression	Express your own ideas accurately.	There are some mistakes, but can express your own ideas generally.	Many errors and difficult to express your own ideas.		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	When working as an engineer or researcher in the science and technology field in the future, it is necessary to smoothly communicate in English. In this lecture, students will learn English vocabulary related to science and technology and related English expressions, and will also be able to express their ideas logically in English on a given topic through individual / pair / group work.				
授業の進め方・方法	Work on language activities focusing on Speaking and listening. Discuss a given topic in pairs or groups to improve their English speaking skills.				
注意点	In order to achieve the above goal, students are required to review the text and review the lessons of the class, and actively engage in English learning. 学習指針: 地球環境問題に関する知識と理解力が求められる。 関連科目: グローバルチャレンジ、異文化交流、英語科科目 事前学習: 英語ネイティブの発音を聞く練習を行うこと。授業で学ぶチャプターの英単語を事前に調べること。 事後展開学習: 授業で学んだ内容を理解し、本文の英文音読を行うこと。各話題について英語で意見を述べること。				
学修単位の履修上の注意					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Guidance	Explain the contents of the course, how to proceed, and marking policy.	
		2週	Keywords for the topic	Learn the outline and keywords of the textbook.	
		3週	Chapter1: What is climate change?	Understand the contents of Chapter 1 and discuss them in English.	
		4週	Chapter2: How does our climate work?	Understand the contents of Chapter 2 and discuss them in English.	
		5週	Chapter3: Getting warmer	Understand the contents of Chapter 3 and discuss them in English.	
		6週	Chapter4: Wetter – and drier	Understand the contents of Chapter 4 and discuss them in English.	
		7週	Chapter5: Extreme weather	Understand the contents of Chapter 5 and discuss them in English.	
		8週	Chapter6: Slow or sudden change?	Understand the contents of Chapter 6 and discuss them in English.	
	2ndQ	9週	Chapter7: How bad will it get?	Understand the contents of Chapter 7 and discuss them in English.	
		10週	Chapter8: Is it all bad?	Understand the contents of Chapter 8 and discuss them in English.	
		11週	Chapter9: Carbon	Understand the contents of Chapter 9 and discuss them in English.	
		12週	Chapter10: What are our governments doing?	Understand the contents of Chapter 10 and discuss them in English.	
		13週	Chapter11: What can you do?	Understand the contents of Chapter 11 and discuss them in English.	
		14週	Review	Understand the contents of Chapter 1~11	
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
Weekly Assignment			Class Participation		合計

総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100